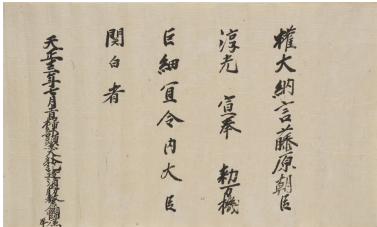


名古屋市博物館

1 階展示室 特別展・企画展

4/29 | 6/11 特別展 The 名古屋市博物館 豊臣家文書収集と博物館の現在地

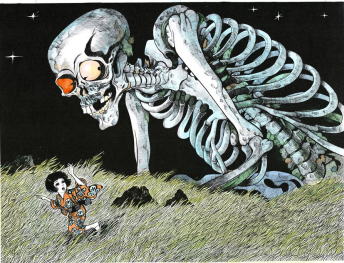
名古屋市博物館は、近年、重要文化財「豊臣家文書」の収集、市民の寄付による資料修復、様々な方法による展示や市民と連携したイベントなど多彩な活動を行ってきました。さらに、これからの時代に即した魅力ある博物館になるための計画を進めています。リニューアルのための休館を目前に控えた本展では、「豊臣家文書」をお披露目し、新しい取り組みなどから、名古屋市博物館の現在地と博物館がめざすこれからを紹介します。



宣旨（関白） 天正 13 年（1585）7 月 11 日付 豊臣家文書

特別展 水木しげるの妖怪 100 周年記念 水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 7/15 | 9/24 ～お化けたちはこうして生まれた～

漫画家として知られる水木しげる（1922～2015）。妖怪画創作の裏側を、貴重な水木自身の所蔵資料から紐解きます。さらに、水木しげるの妖怪画が約 100 点以上も大集合！私たちの周りのさまざまなところに息づいている妖怪の姿に、想像をふくらませてみませんか。

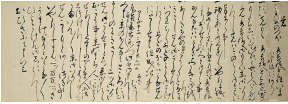


べとべとさん ©水木プロダクション

がしゃどくろ ©水木プロダクション

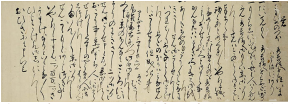
2 階展示室 常設展「尾張の歴史」

16のテーマに沿って尾張の歴史を紹介するとともに、展示室の一部では、以下のスケジュールで特集展示をおこなっています。

5/21	5/24	6/25
幕末の尾張名古屋 異国人の来訪、西洋銃の調練、皇女と宮の下向、長州征討……激動の時代における尾張藩の動向やこの地域の人びとのすがたを、新出史料を交えて紹介します。  尾陽熊手図絵 西洋銃調練の様子	誰かが家にやってくる 薬売り、万歳、花嫁、神さまーむかしは折を見てさまざまな人や神が家に訪れました。家に訪れる人々を通して昔の暮らしを見ていきます。  家に訪れる伊勢大神楽	大曲輪遺跡 大曲輪遺跡出土土製品 
4/23	4/26	6/25
没後200年 田中訥言 やまと絵に学び、独自の作風を切り開いた名古屋出身の画家、田中訥言の作品を展示します。  田中訥言 若竹鶴鶴図屏風（部分）	下郷善右衛門家の書画 下郷善右衛門家は、東海道鳴海宿（現緑区鳴海町）の名家である下郷家の分家にあたります。本家と同じく酒造を営み、村や宿場の経営にも尽力しました。同家に伝来した文書や書画から豪商の文化的営みを紹介します。  下郷善右衛門家の書画	文書に見る小牧・長久手の戦い 豊田秀吉と徳川家康が激突した天正 12 年の小牧・長久手の戦いでは、双方が自軍を有利に導くため、多くの文書を発給しました。この中で安堵状や禁制といった文書も、戦いの重要な要素でした。  文書に見る小牧・長久手の戦い
4/23	4/26	6/25
屋根神 軒先や屋根にまつられている屋根神さま。近年受贈した屋根神の祠と、市内各所で撮影された屋根神の風景をご覧ください。  屋根神	しらかうち行事 「しらかうち行事」は作りものの鹿を矢で射る神事であり、陰暦正月から春先にかけて奥三河の山間部でおこなわれています。行事で実際に使用された資料を紹介します。  しらかうち行事	天王祭り 天王祭りは疫病除けを願う行われています。尾張地方各所で多様な姿を表す天王祭りに注目しましょう。  天王祭り

イベント・セミナー

歴史体験セミナー（参加無料） むかしのおもちゃで遊ぼう 7/19(水)～9/3(日)開館日の9:30～16:30 会場：2階常設展ロビー
歴史体験セミナー（要事前申込・参加費1人400円） まねき猫絵付け体験 5/5(金・祝) (1)10:00～11:30 (2)14:00～15:30 ※定員各回先着30人(小学校3年生以下は要保護者同伴) ※申込期間 4/12～5/4 自分だけのまが玉づくり 8/26(土)・27(日) 各日2回 (1)10:00～11:30 (2)14:00～15:30 ※定員各回先着30人(小学校3年生以下は要保護者同伴) ※申込期間 8/2～各開催日の前日
各種イベント はくぶつかんクイズラリー(要常設展観覧料) 7/15(土)～9/3(日) 会場:常設展示室 はくぶつかん古書市(入場無料) 8/26(土)～9/3(日) 会場:1階ロビー

6/28	8/27	8/29	9/30
縄文時代とその暮らし おおくろ ～大曲輪遺跡～ はるか昔の人々の暮らしをさまざまなかたちで現在に伝える遺跡と出土品。今回は縄文時代の遺跡である大曲輪遺跡（瑞穂区）に関係するさまざまな資料を展示します。  大曲輪遺跡出土土製品	常設展これまでとこれから 常設展「尾張の歴史」は、長らく博物館の顔として当地の歴史を皆さんにお伝えしてきました。今年の秋からはじまる博物館のリニューアル工事にあたって、今までの常設展の歩みを振り返りながら、新しい常設展の計画をお知らせします。  常設展これまでとこれから	山車揃え 名古屋では江戸時代以来「名古屋山車」と呼ばれる形式の山車祭礼を盛り上げてきました。当館が所蔵する山車模型や山車玩具を一挙公開します。  山車揃え	天王祭り 天王祭りは疫病除けを願う行われています。尾張地方各所で多様な姿を表す天王祭りに注目しましょう。  天王祭り
6/28	8/27	8/29	9/30
文書に見る小牧・長久手の戦い もんじょ 豊田秀吉と徳川家康が激突した天正 12 年の小牧・長久手の戦いでは、双方が自軍を有利に導くため、多くの文書を発給しました。この中で安堵状や禁制といった文書も、戦いの重要な要素でした。  文書に見る小牧・長久手の戦い	常設展これまでとこれから 常設展「尾張の歴史」は、長らく博物館の顔として当地の歴史を皆さんにお伝えしてきました。今年の秋からはじまる博物館のリニューアル工事にあたって、今までの常設展の歩みを振り返りながら、新しい常設展の計画をお知らせします。  常設展これまでとこれから	山車揃え 名古屋では江戸時代以来「名古屋山車」と呼ばれる形式の山車祭礼を盛り上げてきました。当館が所蔵する山車模型や山車玩具を一挙公開します。  山車揃え	天王祭り 天王祭りは疫病除けを願う行われています。尾張地方各所で多様な姿を表す天王祭りに注目しましょう。  天王祭り

はくぶつかん講座（要事前申込・聴講無料） 当館学芸員が講師をつとめる講座です。 今年度は4/15、5/6、5/13、5/20、5/27、6/17、7/8、8/12、8/19、9/2（いずれも土曜）に開催予定です。 各講座の内容、申込期間については博物館ウェブサイトをご覧ください。 10:00開講（9:30開場） 定員各回先着70人 会場：1階展示説明室
--

— 休館案内 —

名古屋市博物館はリニューアル工事のため、2023 年 10 月 1 日から長期休館いたします（2026 年中オープン予定）。休館中の活動や新しい博物館の様子については、ウェブサイト（<http://www.museum.city.nagoya.jp/>）、SNS にてご確認ください。


ウェブサイト







名古屋市蓬左文庫

- 4/15 5/28 企画展 能の世界ー神・男・女・狂・鬼ー
- 6/3 7/17 企画展 極める！江戸の鑑定
- 7/23 9/18 夏季特別展 徳川家康ー天下人への歩みー



徳川家康の波乱の生涯を歴史史料などから辿るとともに、駿府御分物（家康の遺品）を中心に、軍事・政治・学問・芸能など、様々な側面に焦点を当て、家康像を紐解きます。

花色日の丸威胴丸具足 徳川家康着用（駿府御分物）徳川美術館蔵

- 9/24 11/5 秋季特別展 人間讃歌ー江戸の風俗画ー

戦国の乱世が終わわり、泰平の世が到来した江戸時代、現世を謳歌する人々の姿を描いた風俗画が数多く登場しました。人を主題とした風俗画の名品を展示し、その普遍的かつ魅力あふれる世界を紹介します。



重文 本多平八郎絵屏風 徳川美術館蔵

- 11/11 12/15 企画展 徳川林政史研究所開設 100 周年記念 尾張藩と木曾山ー徳川義親のまなざしー
- 1/4 1/28 企画展 うるわしの古筆
- 2/3 4/3 企画展 ひなを楽しむー旧家のひな飾りー

名古屋市秀吉清正記念館

- 3/4 5/28 特集展示 地図を楽しむ
- 6/10 7/9 パネル展 尾張の城
- 7/21 9/3 夏休み特集展示 太閤記の世界
- 10/7 11/23 特別陳列 桶狭間の戦い

永禄3年（1560）に起きた桶狭間の戦いは、総大将である今川義元が討ち死にし、織田信長が一方的に勝利するという劇的な結果となりました。この戦いをめぐる情勢を紹介し、信長の勝因をさぐります。



今川義元木像 長福寺蔵

- 12/9 2/12 パネル展 現存 12 天守
- 2/24 5/19 パネル展 尾張に残る秀吉と清正の足跡

■ 博物館利用案内 ■

名古屋市博物館は昭和52年（1977）に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・保存し、公開しています。

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1
電話 052-853-2655 FAX 052-853-3636



- 開館時間 9時30分～17時（入場は16時30分まで）
- 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）
毎月第4火曜日（祝日を除く）
- 観覧料 一般300(250)円、高大生200(150)円、中学生以下無料
（常設展）※（ ）内は30名以上の団体料金。高大生・中学生は学生証の提示が必要。
市内在住の65歳以上の方100円（要敬老手帳等）。
※特別展・企画展はそのつど定めます。
- 交 通 【名古屋駅より】
地下鉄桜通線で17分「桜山」下車 4番出口から南へ150m
エレベーターをご利用の方は3番出口から南へ400m
【金山バスターミナルより】
市バス金山14系統「桜山経由」 「博物館」下車
- 駐車場 普通車：1回300円 大型バス：1回1,200円

最新情報はウェブサイトか SNS でご確認ください。



ウェブサイト



■ 分館利用案内 ■

名古屋市蓬左文庫

- 〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001 電話 052-935-2173 FAX 052-935-2174
- 開館時間 10時～17時（入室は16時30分まで）
- 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）
特別整理・年末年始休館（12月16日～1月3日）
- 観覧料 一般 1600円 高大生800円 小中生500円（徳川美術館と共通）
- 交 通 【名古屋駅より】
市バス基幹バス2号系統・名鉄バス（栄経由）
「徳川園新出来」下車、徒歩3分
【なごや観光ルートバス メーグル】
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車すぐ
【大曽根より】
JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分



名古屋市秀吉清正記念館

- 〒453-0053 名古屋市中村区中村町茶ノ木25（中村公園文化プラザ2階）
電話 052-411-0035 FAX 052-411-9987
- 開館時間 9時30分～17時
- 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）
毎月第4火曜日（祝日を除く）
館内点検休館（11月24日～12月8日）
年末年始休館（12月29日～1月3日）
無料
- 観覧料
- 交 通 【名古屋駅より】
地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分
市バス名駅25系統・中村巡回「豊国神社」下車、徒歩2分



2023.4-2024.3
名古屋市博物館

※名古屋市博物館は2023年10月1日から長期休館いたします。

名古屋市蓬左文庫
名古屋市秀吉清正記念館

